

議会だより

やまがた

81号

2023年8月1日発行

発行：山県市議会
編集：議会報編集委員会

G I K A I D A Y O R I Y A M A G A T A



▲現役大相撲力士 大栄翔勇人氏が高富保育園を訪問

CONTENTS

- 議会構成 P 2
- 第1回臨時会・第2回定例会 ... P 3～4
- 常任委員会報告 P 4～5
- 所管事務調査報告 P 5～6

- 一般質問 P 6～10
- 特別委員会経過報告 P 11
- 議会活動日誌・第3回定例会予定 ... P 12

新たな議会構成決まる

第1回臨時会において、投票により議長に山崎通議員、副議長に加藤義信議員が選出されました。また、議会運営委員会、常任委員会、特別委員会の新たな議会構成が決まりました。

正副議長 就任のごあいさつ

議長

山崎 通



皆様のご推挙により山口市議会議長職を拝命いたしました。感謝の気持ちと職責の重大さを感じているところです。
3年超に及んだ新型コロナウイルス感染症も2類から5類に引き下げられ、大きな区切りを迎えました。
ウイルスが消えたわけではなく、感染が拡大しても適切に対応できるよう普段から備えなければなりません。
市民が「命を守る」という目標を共有し、安心・安全なまちづくりに邁進してまいります。

副議長

加藤義信



この度、副議長の職を拝命し、職責の重さに身の引き締まる思いでございます。議長の補佐役としての職務を全うし、本市の更なる発展、活性化に努めてまいります。
今年度で本市は「市制20周年」の佳節を迎えました。一方で、自然災害の対応や、社会保障、財政問題など多岐にわたる課題は山積しております。
市議会と行政が知恵を出し合い意見を交わし、安心・安全で暮らしやすいまちづくりを推進してまいります。



議会選出監査委員

郷 明夫

◎：委員長 ○：副委員長

議会運営委員会



田中 辰典



奥田 真也



福井 一徳



○加藤 裕章



◎武藤 孝成

総務産業建設委員会



寺町 祥江



古川 雅一



郷 明夫



山崎 通



武藤 孝成



○操 知子



◎田中 辰典

厚生文教委員会



松久 茂



加藤 義信



福井 一徳



山崎 通



吉田 茂広



○加藤 裕章



◎奥田 真也

議会改革及びICT検討特別委員会	◎加藤 裕章	○操 知子	武藤 孝成	吉田 茂広
議員活動適正化特別委員会	◎福井 一徳	○古川 雅一	加藤 義信	松久 茂
議会報編集委員会	◎加藤 義信	○加藤 裕章	郷 明夫	寺町 祥江
岐北衛生施設利用組合議員(山口市選出)	寺町 祥江	山崎 通	奥田 真也	田中 辰典
			操 知子	松久 茂
			加藤 義信	加藤 裕章



議案の審議結果

第1回臨時会

5月11日

専決処分案件	5件
人事案件	6件
予算案件	1件

第2回定例会

6月5日～23日
(19日間)

人事案件	14件
条例案件	6件
予算案件	4件
その他案件	1件
報告案件	3件

令和5年 第1回臨時会

専決処分案件

承第1号	山県市税条例の一部を改正する条例の専決処分について	承認(全会一致)
承第2号	山県市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分について	承認(全会一致)
承第3号	山県市介護保険条例の一部を改正する条例の専決処分について	承認(全会一致)
承第4号	令和5年度山県市一般会計補正予算(第1号)の専決処分について	承認(全会一致)
承第5号	令和5年度山県市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)の専決処分について	承認(全会一致)

人事案件

選第1号	山県市選挙管理委員会委員及び補充員の選挙について	当選(全会一致)
選第2号	岐阜県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について	当選(全会一致)
議第32号	山県市監査委員の選任同意について	同意(全会一致)
議第33号	山県市公平委員会委員の選任同意について	同意(全会一致)
議第34号	山県市教育委員会委員の任命同意について	同意(全会一致)
議第36号	山県市監査委員の選任同意について	同意(全会一致)

予算案件

議第35号	令和5年度山県市一般会計補正予算(第2号)	可決(全会一致)
-------	-----------------------	----------

令和5年 第2回定例会

人事案件

議第37～43号	山県市高富財産区管理委員の選任同意について	同意(全会一致)
議第44～50号	山県市政治倫理審査会委員の委嘱同意について	同意(全会一致)

条例案件

議第51号	山県市附属機関設置条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
議第52号	山県市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
議第53号	山県市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)



議第54号	山縣市税条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
議第55号	山縣市福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)
議第56号	山縣市赤ちゃんほほえみ応援金条例の一部を改正する条例について	可決(全会一致)

予算案件

議第57号	令和5年度山口市一般会計補正予算(第3号)	可決(全会一致)
議第58号	令和5年度山口市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
議第59号	令和5年度山口市水道事業会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
議第60号	令和5年度山口市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)

その他案件

議第61号	山口市過疎地域持続的発展計画の変更について	可決(全会一致)
-------	-----------------------	----------

報告案件

報第3号	令和4年度山口市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	—
報第4号	令和4年度山口市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	—
報第5号	山口市土地開発公社経営状況について	—

採決にあたっての 主な討論

議第57号
令和5年度山口市一般会計補正予算(第3号)

賛成討論

今回の補正予算には、高校生の医療費を領収書申請により償還する現金給付から、窓口での自己負担をなくすように受給者証による現物給付へと移行するためのシステム改修費が含まれている。質疑では、その経緯を尋ね、これまでの段階を踏んだ市の取り組みや、県内の状況、国庫負担の減額調整措置についての考えをお聞きした。多角的な視点で検討した上でリスクを踏まえても市民に最善の利益をもたらすための決断をされた。今後の国の最新の方針もお答えいただいたが、こうした市町村の取り組みが国を動かす一助となることも期待し、賛成する。



常任委員会報告

各常任委員会で、付託された議案をそれぞれ審査しました。主な質疑と審査結果は次のとおりです。

総務産業建設委員会

予算案件

〔議第57号〕 令和5年度山口市一般会計補正予算(第3号)

Q 支障木伐採事業を行うに当たっての経緯や事業の流れはどのようなか。

Q この事業の委託先の選定方法はどのようなか。

A 指名競争入札にて林業事業者にて委託する。

A 以前、美山地域の国道418号沿いで、大雨による倒木、一週間以上の停電が発生した。それを受けて、事前伐採を中部電力と協力し、現場確認を行い、優先順位を定めたと進めていく。



採決の結果、付託された議第51号から議第53号、議第57号及び議第61号の5議案は全会一致で原案どおり可決すべきものと決定した。

厚生文教委員会

条例案件

【議第56号】

山県市赤ちゃんほほえみ応援金条例の一部を改正する条例について

Q対象となる最新の該当世帯数は。

A今年度の出産の見込みは、第2子41世帯、第3子21世帯、第4子4世帯、第5子2世帯、第6子以上は0世帯。

予算案件

【議第57号】

令和5年度
山県市一般会計
補正予算(第3号)

Q生活保護システムの改修業務委託料の基準の見直しや改修後の受給がどうなるのか。

A生活扶助基準額の見直しと物価高騰を考慮し、検証結果による額に世帯

人数1人当たり月額千円を加算するもの。基準からマイナスにならない制度改正となっている。

Q美山地域の巡回診療について、ネット環境の整備やマイナ保険証の対応は。

Aネット環境の整備は考えていない。マイナ保険証のカードリーダーについても設置は予定していない。

Q太陽光発電設備等設置費補助の今までの実績は。

A2件は太陽光発電と蓄電池を併用。1件は太陽光のみでの設置で合計3件である。

Q太陽光発電設備等設置費補助の今後は。

A太陽光発電は上限5キロワットとして定額1キロワット当たり7万円。蓄電池は5キロワットアワーに対し3分の1の補助。エネルギーマネジメントの構築についても補助を検討する。

Q地域福祉型運営体制等構築支援事業について

託される事業内容は。また、事務局はどこが行うのか。

A脱炭素協議会の運営、地域のエネルギー需要供給調査、エネルギーシステムの構築調査や導入調査である。この事業については、オルタス山県と包括協定を結んでいるため、事務局はオルタス山県が行い、サポートを市が行う構図となる。

Q地域福祉型運営体制等構築支援事業は何をするのか。

A再生可能エネルギーの収支、エネルギーに関する売上金が市外へ流出することなく市内で循環させるシステムを構築するための調査を行うものである。

Q中学校の教育振興について目的と事業内容は。

A県庁やOKBふれあい会館、サラマンカホールの施設見学やパイプオルガンの視聴・体験をするものである。

採決の結果、付託された議第54号から議第60号までの7議案は全会一致で原案どおり可決すべきものと決定した。

所管事務調査報告

総務産業建設委員会(6月15日)

(文責：操 知子)



富岡橋架替工事及び周辺道路整備

1級河川鳥羽川の河川改修工事に伴う富岡橋架替工事が令和3年度から進められているが、旧富岡橋の撤去工事が完成したので、現場を調査した。

現在は仮橋を通行しているが、富岡橋開通へ向けて、今後は護岸工事や橋梁工事、取付道路工事などを施工し、仮橋仮設道路撤去工事へ進める予定となっている。

市道02011号線道路改良工事

山県インター交差点から県道関本巣線間の市道02011号線(西深瀬地内)において、現道拡幅工事が施工されているので、現場を調査した。

元は1車線歩道無しの道路であったが、車道拡幅と片側歩道設置が順に進められている。



民営化された高富保育園の運営状況

高富保育園は4月から社会福祉法人同朋会により幼保連携型認定こども園(幼稚園の機能と保育所的機能を合わせ持つ施設)として運営されている。教育・保育目標は『心豊かで、たくましい子どもを育てる』であり、6月現在における職員数は30人(正規職員15人)で園児数は定員184人のところ138人とのこと。園の特徴としては、4～5歳児においては英語教室を月2回、スポーツ教室を年9回、また5歳児は書道教室や手話教室を月1回行うことであり、園児に対し手厚く対応している。また、市内保育園としては初めて生後57日目の日から入園が可能となっており、共働き世帯が増えている昨今、保護者においても社会復帰が早い段階で可能になることも大いに期待できる。



富岡小校区放課後児童クラブ移転に伴う改修工事・備品等購入の状況

富岡小校区放課後児童クラブは、1月10日から富岡小学校3階に移転をしており、小学校内を通過してクラブ室へ移動する方法は、ここが初めてのこと。

クラブ室については、イングリッシュルームとパソコン室を改修しており、総事業費は4,288,319円。エアコンの設置やテレビモニター付きインターフォン設置などであり、特にこのテレビモニター付きインターフォンを活用することで、玄関で引き渡しが可能となり、防犯の観点からも保護者・児童に対して安心安全な利用が可能となっている。

現在の登録児童数は1年生から4年生までの58人。1日平均の利用児童数は31人。これを支援員5～6人という手厚い対応をしていた。



※Q オストメイトに関する今後の対応は

A 設置できるものを調査し、導入に向けて検討する

※オストメイト：さまざまな病気や事故により、お腹に排泄のための人工肛門・人工膀胱であるストーマを造設した方々のこと。



操 知子 議員

- ① 市内9カ所のオストメイト対応トイレのうち、パウチ・しびん洗浄トイレ水栓型の3カ所をオストメイト対応便座や補高便座、洗浄流し型のトイレに更新するべきだと考えるが。
- ② 防災備蓄用資機材として、非常時オストメイト対応トイレを保管するべきだと考えるが。
- ③ 災害時には家屋の倒壊等によりストーマ装具を避難所へ持ち出せなくなることも想定される。アンケート調査により、希望者にはストーマ装具の預かり保管事業を行うべきだと考えるが。
- ④ 市役所本庁舎の多目的トイレについて、利用者の意見を直接伺い、改善すべきポイントが明確になった。設置可能な器具やそれに係る経費などを調査中であるが、可能な限り早期に対応したい。
- ⑤ オストメイトの避難生活におけるトイレに関する不安を和らげるため、避難所の仮設トイレに、オストメイト対応型のものを追加設置できるよう導入に向けて検討する。
- ⑥ 防災に関する情報発信の中で、非常用持ち出し袋等に常用薬や、個別に必要な装具などについても準備していた。アンケート調査の予定はないが、窓口ToStroma装具の申請に来庁した人に話を伺うなど個々に対応する。



▲市役所1階オストメイト対応トイレ

一般質問 令和5年 第2回定例会 9人の議員が登壇し、市政を問う





福井 一徳 議員

Q-1 バスターミナル発足2年「公共交通再編」の評価と見直しを

A 地域公共交通計画の策定と課題解決に努める

Q-2 岩佐の市有地419㎡が、㎡単価14円の払い下げについて

A 法定外公共物の売払いに関する規則によるもの

Q-1 公共交通会議の課題

① 美山地域のデマンド型交通の拡大

② ハーバス伊自良・大桑線の利用拡大

③ 市街地巡回線の実施評価と今後の見直し

の諸課題を解決するため、利用者の声を直接聞く「昼間の公共交通に関する懇談会」の場を各地域で実施すべきと考えるが。

A 市内公共交通をより良くしていくには、日頃から公共交通を利用いただいている地域の人々の意見を反映することが重要と考えている。

運行・利用状況を確認しながら、今後、路線再編を実施していく際には、市民懇談会を含め、地域の意見を伺いながら地域公共交通をつくっていく。また、地域の意見を踏まえた結果、策定した地域公共交通計画を変更する必要がある場合は、適宜対応していく。

Q-2 令和2年5月に岩佐地域の田畑の灌漑用水路が㎡14円で払い下げられていた。

① なぜこの単価か。その根拠は。

② 契約に至る協議の経緯と内容は。

③ 決裁の基準と最終決裁者は誰か。

A 一般的には、相続税評価額または固定資産税評価額に修正率を掛けて求めるが、それによりがたい場合には、その他の方法により評価することができるとされている。「用悪水路」については、それらの固定資産税評価額等が存在しておらず、その他の方法を選択した。具体的には、不動産登記に係る登録免許税を算出するために必要な土地の仮評価額に需給修正率を加味した金額とした。

② 規則に基づく申請に対し、規則第4条により売払い金額を決定し、規則第5条の契約を行った。

③ 事務決裁規程により、評価額が100万円未満の公有財産の処分は、課長専決事項となっている。

Q-1 間伐材の利活用の考えは

A 未利用材の搬出促進事業補助金の活用

Q-2 山県市のファンづくりについて

A シティプロモーション事業の展開に取り組む



加藤 裕章 議員

Q-1 森林内に放置された間伐材が豪雨などにより流出し、二次災害を引き起こす恐れがあるため、間伐材を利用し販売する出口戦略を考える必要があるが、間伐材の利活用についての考えは。

A 森林内に放置された間伐材を含む伐採木、いわゆる林地に残された木材を搬出し、必要な人へ販売をする、森林資源の有効活用につなげていくための「木の駅プロジェクト」を支援している。今年度から林地残材の搬出・販売を行う民間活動組織「山県木活クラブ」が設立され、その活動に対して県と本市が補助金を交付し支援している。来年度以降も継続して活動できるようサポートしていきたい。

Q-2 ふるさと納税をはじめ、山県市に関心を持った人が、継続的に関心を持ちより深く関わってもらえるような仕組みづくりが必要と考えるが、山県市アンバサダーの現状と更なるファンづくりに向けての考えは。

A 山県市アンバサダーは、本市にお越しいただいた際の感想や、事務局から届ける情報をもとに、本市の魅力に関する口コミやSNSでの発信など、主に本市のPR活動を担っていただく、言わば山県市の広報大使というもので、現在、168人の方が登録し、市の認知度向上に貢献いただいている。今後は、本市特有の魅力に更に磨きをかけ、これまで培ってきたシティプロモーション事業を踏まえながらも、新たな切り口を模索しながら、アンバサダー制度の在り方を含め、本市にあった効果的な施策を検討していく。

また、ふるさと納税を通じて接点ができた人にも、訪れてみたいと思ってもらえるように、お礼のメールを送付する際に本市の魅力も一緒にお届けできる工夫をし、一人でも多くのファンを増やしていけるよう取り組みたいと考えている。





奥田 真也 議員

Q-1 3歳未満児保育の無償化の状況は

A 全国に先駆けて3歳未満児保育の無償化への反響は大きい

Q-2 山県学園構想について

A 山縣市ならではの豊かな教育を担保

Q-3 防災士取得助成の申請状況や今後の周知は

A 防災士の役割や取得助成事業をPRする

Q-1 4月から始まった未満児保育の無償化。途中入園の状況や保育士確保についての考えは。

A 0～2歳児保育料の無償化の開始により、途中入園は、4月2日から6月1日までの期間で、未満児21人、3歳以上児3人の合計24人、問い合わせ件数は37件であった。現在、国の保育士の配置基準に定める配置基準以上の運営を行っている。保育士確保に向けて、今後の少子化、0～2歳児の需要と民間保育園の需要等を鑑みながら、適正な保育士確保に努めていく必要があると考えている。

Q-2 山県学園構想について今後のスケジュールや子どもたちへの教育の在り方についての考えは。

A 山県学園構想の実現には、現時点での年次計画は示さず、協議と検証を踏まえ、地域の実態を優先した推進を図る考えである。あくまで子どもと保護者と先生方の三者に軸足を置き、地域と教育委員会がそれをしっかりと支える構図により、創

Q-3 市内における防災士の人数の把握や防災士取得助成制度の申請状況は。また、今後の周知についての考えは。

A 日本防災士機構に登録された市内の防災士の人数は126人だが、取得時に登録された情報で、その後の異動などが反映されていないことから、本市在住の正確な防災士の人数は、掌握できない。防災士は、社会のさまざまな場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを認められている。まさしく地域の防災リーダーとして、その能力を発揮していただくことを期待している。

発的に未来を確定していくことが、これまでに経験のない「学年100人時代」の少子化に向き合う教育委員会の責任であると考え、進めていく。

Q-3 市内における防災士の人数の把握や防災士取得助成制度の申請状況は。また、今後の周知についての考えは。

A 日本防災士機構に登録された市内の防災士の人数は126人だが、取得時に登録された情報で、その後の異動などが反映されていないことから、本市在住の正確な防災士の人数は、掌握できない。防災士は、社会のさまざまな場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを認められている。まさしく地域の防災リーダーとして、その能力を発揮していただくことを期待している。

防災士取得助成事業のPRを工夫し、防災士の数を増やしていきたい。

Q 沿道の支障木の伐採事業促進を

A 予算確保と土地所有者の理解を得ながら協力していく



郷 明夫 議員

Q 今6月議会で国道418号の笹賀地内、県道柿野谷合線の柿野地内の県管理道の沿道での事前伐採事業が予算計上された。これは県と中部電力とで「大規模災害時における相互連携に関する協定」を2020年3月に締結したことによるもので、風倒木による停電事故や道路の寸断の発生を防止するため事前の伐採等をするものである。

2018年7月豪雨では国道418号の佐野、葛原の市井、県道神崎高富線の神崎、美山円原の市道等では風倒木により、大規模停電が発生、道路も全面通行止めとなった。

① 市は今後、災害対策として本協定に基づく沿道の事前伐採事業に計画的に取り組む方針なのか。

② 風倒木の被害があった国道418号、神崎高富線の区間の災害対応は。

③ 県管理道路でない美山円原地内の災害対応は。

④ 2020年7月発生の山林崩壊の治山復旧事業の完成用途は。

A ① 倒木による停電や道路の寸断を予防する事前伐採について、市町村と連携して取り組むこととされている協定の趣旨に沿って、本市としても事業に協力していく方針。

② ライフライン確保の観点から、全ての危険区間で事前伐採事業等を実施していくことが理想であるが、予算の確保や、土地所有者の理解と協力も必要となる。対応すべき範囲が広いことから、中部電力とも協議し、樹木や倒木による停電の可能性、孤立集落の発生防止など防災上の観点から優先順位を定め、県補助や中部電力の協力など財源を確保し、土地所有者の理解を求めていくことが必要だと考えている。

③ 森林環境譲与税等を活用し、対応していきたいと考えている。

④ 2021年に県が事業主体となり、工事が着工され、完成は2025年と伺っている。



吉田 茂広 議員



【清流会・代表質問】

4期目を迎えた市長の重点施策について



A 全ての市民が活躍できる社会へ

※ZEB化：ZEBエネルギー負荷の抑制や効率的な設備の導入により、室内環境の質を維持し省エネルギー化を実現すること。

Q 市長の掲げる重点施策について、次の4項目について具体的な中身はどのようなか。

① 包括的な子育て支援と女性の活躍

② 未来を見据えた力強く豊かなまちづくり

③ 健康寿命の延伸と高齢者の活躍

④ 新たな時代に向けたGX・DXの推進

A ① 包括的な子育て支援と女性の活躍について、子育て支援の大前提である結婚支援の施策を複合的に進めていくため、8年前から高富中央公民館内に「マリッジサポートセンター」を設置し、出会いの機会や結婚相談等行っている。全ての市民が活躍できる社会の実現が重要であるため、「第4次山県市男女共同参画プラン」を基本理念におき、多様な価値観を認め合い、あらゆる分野において男女がともに活躍できる山県市を目指している。

② 国道256号は、県が道路設計等を行っており、今後は西深瀬地内の丈量測量や、伊佐美地内の詳細設計などに向けた準備が進められている。

③ 今年度からは全ての健（検）診受診者にボックスティッシュ5箱を進呈し、特定健診及び節目のがん検診において、受診料を無料としている。

退職後の生活スタイルが変わることにより、退職うつ等が懸念されるが、個々の職歴や特技を生かせるシルバー人材センターの登録や地域住民等の多様な交流の場を提供し支援する。

④ GXの取り組みについては、環境省の再エネ推進交付金を活用し、公共施設の※ZEB化設計や市内家庭向け太陽光発電設備導入の補助事業を計画する。DXの取り組みは、昨年度、業務の効率化に着手し、本年度は、「書かない窓口」や手数料のキャッシュレス化など直接市民の利便性を高めるためのDXを進めている。

Q-1 これからの自治会等のデジタル化について

A 自治会運営の効率化にDXを推進していく

Q-2 熱中症対策の推進について

A 熱中症に対する支援を検討していく



加藤 義信 議員

Q-1 共助の中心である自治会活動の効率化や、負担軽減、事務の簡素化など合理化を図るため、デジタル技術を活用した行政からの広報発信や連絡調整、住民同士の情報交換や、緊急時の連絡、閲覧板の電子化などICTを活用した情報の伝達を、試験的に行ってはどうか。

A 行政を含めた社会全体のデジタル化が進む中で、情報共有を効率化し、新たなサービス・価値を市民の皆さんが受けられることで現役世代や若者の積極的な自治会参加を促し、自治会等の地域活動のデジタル化に積極的に取り組むことは、自治会運営の効率化を図る上でも有効な手段の一つと認識している。本年度、本市ではコミュニケーションシヨニアプリ.LINE（ライン）の公式アカウントを開

設する予定があり、自治会での活用の可能性を研究し、自治会連合会の意見も伺いながら自治会DXを進めていきたい。

Q-2 特に高齢者の熱中症による救急搬送が増加している。発生場所の7割が屋内であり、電気代や物価の高騰等によりエアコンの利用を控えたり我慢する人もいる。極端な高温時の日に※クーリングシェルターの仕組みを導入してはどうか。また、エアコン等購入の際、ZEB化の観点から支援はできないか。

A クーリングシェルターについては、市役所やふれあいセンター等へ避難していただけのような啓発の呼びかけを試験的に行う。

ZEB化については、電気使用量が抑えられることによって、実質的な電気料金の抑制につながる上、地球環境のためにも良いことなので進めていく価値はあると考える。また、エアコン等購入の支援については、環境省の「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」の「重点対策加速化事業」の補助メニューの活用も視野に入れながら一般家庭のエアコンの効率化を検討していく。





田中 辰典 議員

Q 過疎地域すなわち 美山地域における産業振興について

A 木材利用の促進や普及啓発に取り組む

- ① 国道418号は旧美山町の主要道であるが、整備が十分とはいえない状況である。旧美山町は、水栓バルブ製造、製材、樹脂加工などが中心であり、全体的に製造業中心の産業構造となっている。
- ② 旧美山町の区域の大動脈ともいえる国道418号の整備について現状と今後は、
- ③ 県産材を含む美山の杉板の活用について、どう考えるか。
- ④ 美山北部で生産された杉板は板そのものが良質であるため、市場での名声も高く、また製材技術が優秀で上等の板が生産できることから、歴史ある本市の誇れる産業となつてい
- ⑤ 一方、森林環境譲与税の創設により、本市も木材利用の促進や普及啓発に取り組んできた。昨年度は、学校での木製品導入や木製看板の設置等を実施し、本年度についても木製遊具の設置、木製ベンチの導入など木質化を進めている。また、公共施設の内装木質化についても関係所管と連携を図りながら県産材や美山の杉板を活用し、木の良さを伝えていきたいと考えている。
- ⑥ 備要望を行うなど、これまで継続的に要望してきた。国道418号の道路整備は、美山地域の産業振興、雇用確保などにもつながるため、今後も引き続き要望していきたいと考えている。

Q-1 小規模保育園の利用期間の見直しを

A 子どもの成長発達に合った教育・保育施設を選択できるよう周知する

Q-2 全ての子どもが共に育つ地域づくりに向けて

A これからの将来に向けて判断していく



寺町 祥江 議員

- ① 小規模保育園は特定地域型保育事業の一つとして、0〜2歳児を対象とする保育事業であるが、3歳の誕生日を迎え、通い慣れた保育所から年度途中で新たな園に移ることは、子どもや保護者にとって大きな負担。それを指摘する声は全国的にも上がり、4月21日、子ども家庭庁は必要性に応じて保育の継続を認めることを決め、各自治体に通知した。市の考えと今後の対応は。
- ② 小規模保育事業施設の対象児を0〜2歳児としている理由は、満3歳以上の幼児は、子どもの人数の多い集団の生活の中で育つことが発達段階として重要とされている。本市では、多種多様な教育・保育施設が環境を整っているため、子どもの成長発達を踏まえて教育・保育施設を選択していただきたい。小規模保育園の利用期間は、3歳の誕生日の月末及び3歳の誕生日を迎えた年度末まで選択できるよう周知していく。
- ③ 6月13日、「こども未来戦力方針」が閣議決定された。保育所等におけるインクルージョンの推進、児童発達支援センターの機能強化や充実、地域の支援体制の整備の促進などが盛り込まれている。今後、支援の核となる児童発達支援センターは市内設置を目指すことも視野に入れ、そのための予算確保、体制づくりに取り組んでいきたい。市の考えは。
- ④ 言葉の相談という形で立ち上げたピッコロ療育センターの支援の状況が変わってきているが、今後、実施しているピッコロ療育センターの児童発達支援事業を強化していく考えである。現在、圏域の児童発達支援センターを利用していただいている皆さんの状況を把握しながら、機能の横付けとして医療機能、保育所等訪問支援や障がい児の相談など、どれだけの機能が必要なのかを具体的に検討した上で、これからの将来に向けて判断していきたい。

特別委員会経過報告



議会改革及びICT検討特別委員会

昨年度から設置された本特別委員会では、会議や議員活動においてタブレット端末及びペーパーレス会議システムの導入に向けて、調査研究を進めてきました。9月定例会からタブレット端末による電子データと紙による資料とを併用して会議を行い、令和6年度からは完全ペーパーレス化を目指して取り組んでいます。それに向けて、現在、タブレット端末貸与規程及び運用方針の内容について協議を進め、実際にタブレット端末に触れながら活用方法の確認をしているところです。



▲導入するタブレット

な取り扱いが求められることもありですが、研修や自己研鑽を重ねながら、できる限りさまざまなことに活用し、より効果的な議会運営と議員活動の充実を図っていきたいと考えています。

(文責 加藤 裕章)

〈導入するシステム〉

ペーパーレス会議システム「moreNOTE(モアノート)」

資料を共有・閲覧するためのソフト。

ネット環境下であればどこでも資料の閲覧やスケジュール確認をすることができます。

画面共有や2画面表示、メモ・ふせんなど便利な機能も備わっています。

議員活動適正化特別委員会

議会の更なる活性化や、今後議員を志す多様な人材を確保し、議会機能の向上を図る観点から、令和4年第2回定例会で「議員活動適正化特別委員会」を立ち上げました。議員報酬、選挙公営、政務活動費の運用の3点について、2年間かけて調査研究をする目的で今日まで14回の議論を重ねてきました。

委員会の議論を始めた当初、「小中学生、10年で100万人減」という記事が岐阜新聞の一面に出ました。少子化や過疎の影響で全国平均9.4%減少、岐阜県は13.4%減少。その中でも山県市が28.4%減少とありました。山県市は子育て日本一を目指し、さまざまな支援策を打っておりますが、生徒の人口減少率は県内21市でワースト2位の結果でした。少子高齢化が続く中で、山県市の将来計画や施策について検討をし、持続的発展を図ることが重要になっていきます。

令和4年10月16日地元

新聞には「美濃加茂市議選、初の無投票」当選者16人のうち有権者の信任を「得たことになると思わない」と答えた人が12人で75%を占めたという記事が掲載されました。その後、令和5年1月には「瑞浪市議選、定数16無投票」「議員なり手確保、知恵絞る」という記事には県議会・市町村議会の議長の58%が議員のなり手不足を感じていて、なり手を増やすための有効な対策は「議員報酬の引き上げ：86%」「議員の厚生年金制度：42%」

等金銭面の待遇改善を求める意見が出ています。多様で多くの人が議員に立候補し切磋琢磨する中でこそ、議会の活性化も図られる一助になると考えます。全国的にも議員には、退職金も議員年金もない現状です。それらを踏まえて「議員報酬」の在り方に関する調査・検討を進め、議会の更なる活性化や、今後議員を志す多様な人材を確保し、議会機能の向上に努めてまいります。

(文責 福井 一徳)



議会活動日誌

4月

- 3日(月) 議会報編集委員会
- 13日(木) 第300回東海市議会
議長会理事会・第106
回東海市議会議長会
定期総会
- 17日(月) 議会報編集委員会
- 19日(水) 岐阜山県保護区保護
司会総会

5月

- 1日(月) 議会運営委員会
- 9日(火) 議員協議会
- 11日(木) 第1回臨時会
懲罰特別委員会
- 21日(日) 市母子寡婦福祉会
会及び研修会
- 23日(火) 中濃十市議会議長会議
市観光協会通常総会
- 25日(木) 県東海北陸自動車道建
設連絡協議会定期総会

- 26日(金) 市商工会通常総代会
- 30日(火) 議会運営委員会
議会改革及びICT検
討特別委員会
- 31日(水) 市老人クラブ連合会
軽スポーツ大会



6月

- 1日(木) 全員協議会
第1回岐北衛生施設
利用組合議会臨時会
- 5日(月) 第2回定例会本会議
(開会)
ぎふ国道256号整備促
進期成同盟会定期総会
議員活動適正化特別
委員会
懲罰特別委員会
- 8日(木) 議会運営委員会
議会改革及びICT検
討特別委員会

- 13日(火) 本会議(質疑)
議会報編集委員会
懲罰特別委員会
- 14日(水) 第99回全国市議会
議長会定期総会
- 15日(木) 総務産業建設委員会
議員活動適正化特別
委員会
- 16日(金) 厚生文教委員会
- 17日(土) 市青少年育成市民議
議会・市少年の主張大会



▲市少年の主張大会

- 20日(火) 本会議(一般質問)
- 22日(木) 懲罰特別委員会
- 23日(金) 本会議(委員長報告・
質疑・討論・採決・閉会)
議員協議会

テレビ放映のお知らせ

令和5年第3回(9月)定例会 本会議の「提案説明」と「一般質問」をチャンネル長良川で放送します。

9月29日(金)12時～ CCN12
10月 1日(日)17時～ CCN12(サブチャンネル)



令和5年第3回(9月)議会定例会予定

- 9月 1日(金) 本会議(提案説明)
- 11日(月) 本会議(質疑)
- 13日(水) 総務産業建設委員会
- 14日(木) 厚生文教委員会
- 19日(火) 本会議(一般質問)
- 20日(水) 本会議(一般質問)
- 25日(月) 本会議(委員長報告・
質疑・討論・採決)

※会議は、原則午前10時から開会します。
※傍聴を希望する場合は、傍聴受付で傍聴券を受け取り、
入場してください。
※日程を変更することもありますので、事前に
議会事務局(22-6840)に問い合わせてください。

編集後記

今年度で「市政20周年」の佳節を迎え、
ハタチの山県市記念事業も開催をされて
います。一方で、新型コロナウイルスも5
類に移行されたものの、引き続き日々の
生活で慎重な感染対策をお願い致します。
5月の臨時会におきまして、議会の委員
会構成も変わり、議会報編集委員会委員も
新たになり、議会報を通して、それぞれの議員の
取り組みなど、より親し
みやすく、充実した情報
をお伝えするよう心掛け
てまいります。今後も、
ご愛読頂きますようお願い
致します。

(文責 加藤 義信)



編集委員

【委員長】加藤 義信
【副委員長】加藤 裕章

【委員】松久 古川 茂
知子 雅一



市ホームページ(山県市議会)
にアクセスできます。

山県市議会

検索